

音 響 技 術

CONTENTS

通巻 No.202 [Vol.52 no.2]

〈特集〉音響に関する規格の現在

特集にあたって	岡本健久	2
【1.JISおよびISOについて】		
1.1 JISの制定・改正について	村井 陸	3
1.2 ISO/TC 43(音響)の標準化活動への日本の取り組みについて	高橋幸雄, 今泉博之 倉片憲治, 佐藤 洋 赤松友成	7
【2. JIS規格】		
2.1 JIS A 6321-2023: 浮床用ロックウール緩衝材の改正内容	井上勝夫	12
2.2 JIS C 9815-1, -2エアコンディショナ及び空気熱源ヒートポンプの 定格音響パワーレベル	服部貴之	15
2.3 音圧法による騒音源の音響パワーレベル及び音響エネルギー レベルの測定	橘 秀樹	19
【3. ISO規格, ASTM規格】		
3.1 ASTM E 2611 伝達マトリクス法に基づく多孔質材料の 垂直入射透過損失測定のための標準試験方法	中川 博	22
3.2 ISO 9053 流れ抵抗	木村正輝	28
3.3 ISO 23591: 2021 音楽リハーサル室の音響特性の基準	鈴木航輔	32
3.4 IEC 60268-16 Ed. 5.0:2020(b) 音響システム機器 —第16部: 音声送信指数による音声了解度の客観的定格	西川嘉雄	35
【4. ISO規格の動向】		
4.1 ISO/TC 43(音響)の動向について	倉片憲治	40
4.2 TC43/SC 1における最近の規格審議の動向	今泉博之, 君塚郁夫 白橋良宏, 横田考俊, 岡田恭明, 大島俊也, 森長 誠, 山田一郎, 山元一平, 山崎隆志, 高橋幸雄, 白木秀見, 須田直樹, 小林知尋 永幡幸司, 高橋弘宣	44
4.3 TC43/SC2(建築音響)の動向について	佐藤 洋, 平光厚雄 平川 侑, 杉江 聡	50

〈会員の頁〉

1. 残響室防音ドアについて	日本環境アメニティ(株)	55
2. Q&Aコーナー 音響管を用いた吸音率, 透過損失測定方法	日本音響エンジニアリング(株)	59
〈次号予告〉		前4
〈一般社団法人日本音響材料協会の年間講習会〉		54
〈バックナンバー〉		54
〈正会員主要製品(技術内容)〉		後1
〈一般社団法人日本音響材料協会会員の募集〉		後6
〈「音響技術」DVD〉		表4
〈集合住宅のリフォームと音〉		表4

音 響 技 術

2023年6月15日発行 価格3,300円(3,000円+税10%)

発行所 一般社団法人日本音響材料協会 〒169-0073 東京都新宿区百人町3丁目21番16号
(日本ガラス工業センタービル2階)

TEL(03)6384-1827 FAX(03)6384-1828 E-mail: info@onzai.or.jp

URL: http://www.onzai.or.jp

Acoustical Materials Association of Japan, Japan Glass Industry Center Bldg. 2F
3-21-16, Hyakunincho, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-0073 Japan

発行人 山梨 忠志

編集委員会委員 佐久間哲哉(委員長)

杉江 隆 土屋 裕造 富田 隆太
富高 隆 箱崎 文子 星野 康
渡辺 充敏 猪脇 章雄(事務局)